

基地統廃合を許すな 貨物大合理化に反撃を

貨物協議会は、五月八日第四回役員会を開催し、四月十三日の前回役員会の検討課題となっていた職場における諸懸案事項についての要求案をとりまとめ、別紙の要求を申し入れることになった。

二年続きの赤字決算

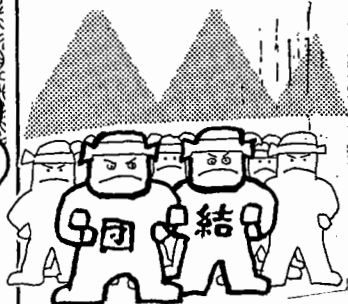
貨物会社は、景気低迷や「阪神大震災」による輸送路の寸断などにより、二年つづきの赤字決算を出すに至った。また昇給や期末手当などで旅客会社との格差が続くなかで、職場には不満がうっ積している。貨物会社は昨年「中長期計画（フレイト21）」を策定し、大合理化計画をうたったとともに、勤乗勤の改善、48才以上の社員を対象にした早期退職制度の確立を強行した。また今年は「中長期計画の第一段階」としての「緊急三カ年計画」の二年目の年として、大幅な基地統廃合を含む大合理化を次期ダイ改に強行しようとしている。貨物会社は分割・民営化の矛盾がもっとも集中するなかで、「一〇年目の総括評価」を前にして、分割・民営化の再編見直しに会社存亡の事態をむかえているといっても過言ではない。こうした情勢を貨物会社は労働者に犠牲を転嫁し、大合理化＝貨物七〇〇人

体制をもって乗りきろうとしている。基地統廃合を狙った次期ダイ改阻止のたたかいを当面の焦点として、職場から全力で闘わなければならない。

職場から全力で反撃を

貨物協議会は、昨年来、時短、勤乗勤改善、中長期計画策定、ダイ改など職場や労働条件をめぐる問題を役員会を開催し、職場の意見をくみあげながら、申し入れをつくり、交渉を進めてきました。今後ますます情勢が激しく動くなかで、このつくりあげてきた運動をより深め、貨物大合理化にたちむかっていく決意です。動労千葉総体としても、この問題は単に貨物のものではなく、大きく分割・民営化体制そのものの問題としてとらえ、全組合員が立ち上がることを訴えます。貨物協議会はその先頭にたって闘いぬきます。

5/28



三里塚東京集会に集まろう

17時～ 目黒公会堂

要求案を申し入れ

動労千葉申第8号
1995年5月11日

日本貨物鉄道株式会社
関東支社長 田中 寛 殿

国鉄動力車労働組合総連合
中央執行委員長 水 野 正 美 殿

職場における諸懸案事項について、下記のとおり申し入れるので誠意をもって解決されたい。

記

I 要員問題について

1. 各職場における欠員状況にかんがみ、動力車乗務員以外の職種についても、55才以降も現職で働ける条件を確立されたい。
2. 佐倉機関区検修について、技術力確保のためにも現行標準数を確保されたい。
3. 佐倉機関区検修における第2交番検査Bについて、現行の作業体制を維持されたい。
4. 隔日交代勤務者の年休取得のための、代替要員を確保されたい。

II 諸設備について

5. 総武支線新小岩・金町間の無線機感度不良区間の解消のため、現行Cタイプ無線機を、Bタイプ無線機に交換されたい。
6. 東金線第二大網街道踏切のレールを、現行40Kレールから50Kレールに改善されたい。

7. 東金線第二岩谷踏切を第一種踏切に改善されたい。

8. 次にかかげる機関車の冷風工を行なわれたい。
DD51型 車号 1014 897 898
DE10型 車号 1667 1668 1669 1665
同 1098

9. DD51型1014号について以下の改良を行なわれたい。
①現行旋回ワイパーを標準型にされたい。
②SG装置を撤去されたい。

10. 所轄保健所より「飲料不適」と指摘された新小岩機関区上水道設備について、すみやかに改善されたい。

11. 田端機関区越谷派出休養室ベットのカーテンについて、すみやかに設置されたい。

12. 佐倉機関区休養室の防音対策を施されたい。

13. 佐倉機関区検修庫の屋根上排煙装置の大型化、機能強化を行なわれたい。

以上